

# 令和3年度経営計画の評価（概要）

## （1）保証部門

（重点課題） ① ウィズコロナ&アフターコロナへの対応 ② 金融機関との連携の充実 ③ 地域・社会から信頼される協会への取組み

- 【自己評価】
- ◇ 新型コロナウイルス感染症対応資金を利用した企業等へ金融機関と同行訪問し、共有した業況を基に連携支援
  - ◇ 条件変更先は支援方針を協議し、借換や専門家派遣による経営支援を提案するなど積極的に支援
  - ◇ 毎月延滞管理を行うなど状況を把握し、金融機関等と連携しながら迅速かつ柔軟に対応
  - ◇ 政府系金融機関と連携した資金繰り支援や再生支援協議会と連携した企業再生に向けた積極的支援を実施
  - ◇ 金融機関担当者と、企業の業況や資金繰り、経営支援の取組み状況等情報を共有化（連携強化・適切な支援）
  - ◇ 金融機関に対する業務説明会や金融機関個別勉強会への講師派遣による、信用補完制度の理解促進
  - ◇ 年間を通じた休日・夜間相談窓口の継続実施に加えオンライン相談窓口を新設するなど相談対応を拡充
  - ◇ 業務のデジタル化推進や、委託契約書後取り対応・申込書類の押印廃止など利便性向上に向けた対応の実施

## （2）期中管理部門

（重点課題） ① ウィズコロナ&アフターコロナへの対応 ② 期中管理強化による事故・代位弁済の抑制

- 【自己評価】
- ◇ 新型コロナウイルス感染症対応資金の利用企業に対する据置期間延長などの柔軟な条件変更対応の実施
  - ◇ 延滞先・事故管理先等に対する、企業や金融機関への訪問・照会等による実態把握と継続的な管理
  - ◇ 返済緩和が長期化している事故先代表者との面談協議などを通し、個別企業の実情に即した対応を実施
  - ◇ 早期事故案件における金融機関の管理状況・事故原因等を確認・検証し、内部で情報共有化（早期自己抑制）

## （3）経営支援部門

（重点課題） ① 経営支援の推進 ② 経営支援機関との連携

- 【自己評価】
- ◇ 経営課題を抱えている企業への訪問等による業況確認、必要に応じた専門家派遣の実施
  - ◇ 専門家派遣時における協会職員の同行訪問（伴走支援・企業との関係性の構築）
  - ◇ 金融調整を必要としている先への経営サポート会議の開催等を通じた経営改善・事業再生支援
  - ◇ 60歳以上の経営者にダイレクトメールを発送し、事業承継に関する支援や保証制度等を周知
  - ◇ ダイレクトメール受け相談があった先には、事業承継・引継ぎ支援センターへの引き継ぎを行うなど同センターと連携した事業承継支援を実施するとともに、関係機関とのネットワーク会議を通し連携体制を強化
  - ◇ 創業計画策定支援や保証時の創業計画へのアドバイス等、円滑な創業に向けた支援を実施するとともに、創業に必要な知識習得支援のため創業セミナーを開催
  - ◇ 女性支援チーム「つぐみ」による女性経営者等の相談対応や女性のための創業セミナーを開催
  - ◇ 中小企業支援ネットワーク会議や各支援機関と勉強会等の開催による、金融支援・経営支援体制の強化

## （4）回収部門

（重点課題） ① 適正な回収方針の決定及び管理 ② 効率性を重視した回収の促進 ③ 求償権先企業への再生支援

- 【自己評価】
- ◇ 求償権先の現況に応じ「経営支援・回収強化」など回収方針を5区分に分けた進捗管理を実施
  - ◇ 代位弁済見込段階から現状把握や弁済交渉開始し、代位弁済後は速やかに回収方針を決定するなど初動を徹底
  - ◇ 担保物件については、近隣の金融機関や不動産業者に情報提供を行うなど積極的な処分を実施
  - ◇ 連帯保証人については、弁済状況や生活実態等を踏まえ、生活再建に着眼を置いた回収を実施
  - ◇ 回収見込がないと判断した先は、速やかに管理事務停止等を行うなど求償権管理事務を効率化
  - ◇ 営業を継続している求償権先については、ヒアリング等を通して現状把握し外部支援機関の協力のもと再生支援
  - ◇ 経営者から保証債務整理の申出を受けた案件については、「経営者保証ガイドライン」に基づき適切に対応

## （5）その他間接部門

（重点課題） ① コンプライアンス態勢の充実・強化 ② 経営の健全化 ③ 顧客サービス・利便性の向上  
④ 危機管理体制の強化 ⑤ 人材の育成・職場環境の整備 ⑥ 地方創生等への貢献

- 【自己評価】
- ◇ 個人情報を含む重要情報の適正管理、職員へのコンプライアンスに対する意識の徹底
  - ◇ 「反社会的勢力等情報共有化システム」を活用した反社会的勢力排除に向けた取組みの推進
  - ◇ コンパクトで機動的な運営を目指し、業務のデジタル化や効率化・合理化等を推進
  - ◇ ホームページ、LINE@などを活用したタイムリーな情報発信
  - ◇ 今後の協会の在り方について改めて意識の共有化を図るべく、ビジョン策定に向けたプロジェクトチームを組成
  - ◇ 新型コロナウイルス感染症に関する情報や行動指針等を共有化し感染対策を徹底
  - ◇ インターネットによる研修受講や職員が柔軟に休暇取得可能な環境を整備
  - ◇ 地元大学での学生向け講義や献血などのボランティア活動等を通じた地域社会への貢献

（単位：百万円）

	計画	実績	対計画比	対前年比
保証承諾	45,600	16,178	35.5%	9.2%
代位弁済	2,400	1,516	63.2%	89.7%
実際回収	592	557	94.0%	122.1%

	計画	実績	対計画比	対前年比
保証債務残高	228,607	197,550	86.4%	93.4%
保証債務平均残高	228,642	205,557	89.9%	113.3%
求償権残高	543	269	49.4%	57.4%